

## 埼玉県議会議員

埼玉民主フォーラム/立憲民主党

こもり克己  
かつみ

## プロフィール

- 1975(昭和50)年2月22日生まれ。
- シンガポール日本人小学校卒業。巣鴨高校、慶応義塾大学卒業。
- 大学時代に政治の道を志す。暮らしの基盤をつくり出す「経済」に付いて学ばなければならぬと思い、証券会社や企業研究所等に就職・勤務。素材(鉄鋼、化学、紙・パルプ等)や半導体・電子部品など幅広い業界を、株式会社アナリスト(日本証券アナリスト協会検定会員)等として担当。
- 苦節3度の選挙を経て、2024年3月、繰り上げにより初当選。令和7年度の常任委員会は産業労働委員会、特別委員会は人材育成・文化・スポーツ振興特別委員会に所属。

## ご挨拶

平素よりお世話になり、誠にありがとうございます。埼玉県議会議員の「こもり克己」です。

**令和7年度(令和7年4月～令和8年3月)も、「地域課題の解決」と「県経済の発展」を両輪に、埼玉県や草加市の更なる発展に向けて、全力で取り組んで参ります。**

「地域課題の解決」におきましては、皆様から多くのお声を頂き、令和6年度は、医療や介護、教育、防災に始まり、町会活動のご支援、生活相談やゴミ処理など身近な問題に至るまで、様々な課題へ取り組んで参りました。今年度も皆様方からご要望をお聞かせ頂き、問題解決に取り組むと共に、より良い方向へ政策が進むよう努力して参ります。

「県経済の発展」に付いては、今年度から埼玉県の経済産業及び労働政策を司る「産業労働委員会」に配属となりました。**埼玉県はもちろん、厳しい財政状況にある草加市においても、新事業創出や積極的な企業誘致、観光業振興等に取り組み、市経済の更なる発展、市税収の増加に向け、一肌を脱ぐつもりです。**

今年度も、御指導や御鞭撻並びに御愛顧賜れましたら幸いです。何卒宜しく願い申し上げます。

## 令和6年度の「地域課題の解決」の主な取り組み実績

|      |                                          |
|------|------------------------------------------|
| 防災 ▶ | 中川・綾瀬川の治水対策を推進。伝右川の河積阻害物除去を前倒しで実施。       |
| 医療 ▶ | 草加市の医療体制強化へ、東部地域医療構想調整会議で、医療格差是正を議題に。    |
| 保育 ▶ | 草加市の待機・保育児童問題の早期解消へ、市当局に申し入れ。            |
| 教育 ▶ | 特別支援学校・特別支援学級教育体制充実を、埼玉県議会の一般質問で要望。      |
| 交通 ▶ | 道路の安全確保へ大型車規制を導入、交通安全標識を設置。渋滞解消へ信号時間を調整。 |
| 観光 ▶ | 草加市の観光業発展へ、越谷市や春日部市など広域連携推進を県当局に申し入れ。    |
| 生活 ▶ | 町会活動の支援や生活相談。騒音やゴミ、落ち葉等の周辺住民間の問題を解決。     |

## 県経済の発展

## ▶ 地元経済の振興

草加市は、厳しい財政状況に置かれ、市民税(法人)は低迷が続いています。市民サービスの維持には、経済や産業の振興を通じて、税収の増加を図ることは重要課題です。

私、こもり克己は、埼玉県の手掛ける企業誘致の支援スキーム「ワンチームRich埼玉」などを活用しながら、優良企業群の誘致や、魅力ある新事業の創出に向けて取り組んで参ります。またかつて宿場町として栄えた草加市ですが、「草加松原」や「産業観光」など観光業振興も推し進めて参ります。



## ▶ 「次世代産業の創出」に向けた取り組み

**空飛ぶクルマ** 大阪・関西万博では「空飛ぶクルマ」が注目を集め、2027年にはANAホールディングスや日本航空が運航サービスを開始します。県内で自動車生産の基盤を持つホンダによる「空飛ぶクルマ」の商用化・量産化には、まだ多くの時間を要する模様ですが、将来的な生産拠点の誘致、いち早い県内の観光向け運航サービス開始を促して参ります。

**ペロブスカイト太陽電池** 次世代型太陽電池として注目を集める「ペロブスカイト太陽電池」ですが、様々な種類がある中、最も日本が強みを発揮できるのは、製造の難易度が高い「フィルム型」だと考えております。製造のできる限られたメーカーに、埼玉県への誘致を働き掛けましたが、難航しているものの、粘り強くアプローチして参ります。

**培養肉・細胞農業** 「培養肉」や「細胞農業」は、生産効率が高く、環境に優しく、動物愛護にも寄与し、現在は主に研究開発段階にありますが、今後急速に広がり、産業を大きく変革すると予測されています。フードテックやアグリテックに適した素地のある草加市において、先進的農業・畜産業の創出や、体験型の農業テーマパーク構想の実現に向けた可能性を探って参ります。

## 八潮市道路陥没事故

八潮市で発生した道路陥没事故において、5月2日、トラック運転手の男性が、ご遺体となって発見され、大変痛ましい結果となりました。心より御冥福をお祈り致しますと共に、御家族の皆様にご心よりお悔やみを申し上げます。また、今回の救出活動及び復旧活動に御尽力、御協力頂きました全ての皆様に、厚く御礼を申し上げます。

埼玉民主フォーラムでは、事故直後、大野知事へ緊急要請書を提出し、2月定例会・予算特別委員会においては、リスクが集中する現行の一極集中型下水処理から、それを分散する小規模施設や合併浄化槽を使った分散型処理システムへの移行を提案し、知事から同意を得、国に提起する意向が示されました。

私、こもり克己も、これまでの数年おきの点検から、センサーなど「インフラモニタリング技術」を活用した「常時点検」へ舵を切るべきだと、国土交通省等に訴えました。技術確立に若干の時間は要するものの、早期実現や広範な実装に向け、今後も取り組んで参ります。

\*合併浄化槽は、し尿処理のみに対応した単独浄化槽と違い、台所や洗濯などを含む全ての生活排水の汚水処理ができます。

## 連絡先

埼玉県議会議員

こもり克己

埼玉県草加市中央二丁目4-1-301

<https://www.komori-katsumi.com>

発行元：埼玉民主フォーラム草加支部

048-911-3155

mail@komori-katsumi.com

## 令和7年度当初予算

# こもり克己や埼玉民主フォーラム等の要望で、 実現した主な施策

令和7年度の当初予算は、2兆2,308億円（前年度比5.2%増）と、過去最大規模になりました。人口減少・少子高齢化社会の到来、激甚化・頻発化する自然災害などへの危機対応と言う、埼玉県が直面する2つの大きな歴史的課題へ対処します。また私、こもり克己や、立憲民主党の議員で構成する会派・埼玉民主フォーラム等の要望で実現した主な施策は以下の通りです。



埼玉民主フォーラムと大野知事

## 地域課題の解決

### 医療

#### ▶ 75歳以上の重症患者や小児患者の「救急医療体制」を強化

県の救急搬送患者の7割を占め、特に搬送が困難になっている75歳以上の重症救急患者の受入体制を強化します。小児救急患者受入医療機関を2か所公募し、深夜帯の小児救急患者の受入を充実します。

#### ▶ 高校生のキャリア教育や産業教育を推進

高度専門職業人材を育成する為、地域の企業や研究機関、商店街等と連携し、総合学科高校や専門高校等で、実践的な職業教育を実施します。

#### ▶ 過密対策へ特別支援学校を新設

特別支援学校における児童生徒の増加に伴う過密問題に対応し、「県東部地域特別支援学校（仮称。八潮市、令和12年4月開校予定、250名程度）」等を、新たに設立します。

#### ▶ 教職員の業務負担軽減

積年の課題である教職員の業務負担軽減へ、教員事務を補助する「教員業務支援員（スクール・サポート・スタッフ）」を726校、「副校長・教頭マネジメント支援員」を47校に、部活動指導員を143人配置します。

#### ▶ 地域と学校との協働活動を推進

放課後子供教室を初め、地域と学校が連携し、地域全体で次世代を担う子供の育成に取り組む活動を支援します。

#### ▶ 待機児童及び保育児童問題の解消へ、保育士の確保に向けた取り組みを推進

国家公務員の給与改定に準じた処遇改善の補助（人件費増額分+10.7%）や、就職支援貸付制度（2年勤務で返還免除など）の拡充など、潜在保育士の復職や新卒保育士の就職支援を含めた、保育士確保を図ります。

### 教育

### 保育

### 防災

#### ▶ 災害対応力の強化（埼玉版FEMA\*の推進）

大規模災害に備え、「埼玉県危機・災害等専門家会議」を設置します。令和6年能登半島地震では、固定・携帯電話が使えない事態が発生しましたが、そうした事態が生じない様、衛星通信機器スターリンクを導入し、通信環境を確保します。

\*埼玉版FEMAは、米国で災害対応の中心的な役割を担う、「連邦緊急事態管理庁/Federal Emergency Management Agency」をモデルとした取り組みです。

### 警察

#### ▶ 全国最多となる175人の警察官を増員

埼玉県警は175人の警察官の増員（定数11,524人→11,699人）を行いました。犯罪者グループへの戦略的な取り締まりや、犯罪の温床になっているダークウェブなど、サイバー空間における対処能力の強化等を図ります。

### 環境

#### ▶ 生物多様性を目指し、ネイチャーポジティブへ

川の保全活動である「SAITAMA リバーサポーターズプロジェクト」を初め、生物多様性の回復や保全を目指し、ネイチャーポジティブ（自然再興）を推進します。



### 高齢者支援

#### ▶ 「地域共生社会」の実現へ

高齢化の進展や単身世帯の増加などで、ご近所で助け合う「地域共生社会」は、重要性を増しています。一段の推進を図るほか、「地域を見守り、支え、つなぐ民生委員」を補佐・協力する「民生委員協力員」制度を創設します。

#### ▶ 認知症施策の総合的な推進へ

高齢者の約3割に、認知に関わる症状（認知症、軽度認知障害）が生じるとされています。認知症への理解を深める活動を行い、ご本人やご家族等を支援すると共に、地域で患者らを支える「チームオレンジ」を支援します。

### 障害者支援

#### ▶ 障害者就労施設への支援

障害を持つ方が働くことを実感し、収入の増加も図れるよう、障害者就労施設製品の販売増加を支援し、また「就労B型受注拡大ステーション」を通し、就労継続支援B型事業所の事業機会の拡大を図ります。

### 子ども・若者支援

#### ▶ 子どもや若者の居場所づくり

「放課後児童クラブ」の待機児童問題を解消する為、塾など民間事業者の参入を促進します。「こども食堂」など、こどもの居場所づくりや運営を包括的に支援します。



埼玉県  
議会議員

かつみ

## こもり克己



## プロフィール

- 1975(昭和50)年2月22日生まれ。
- シンガポール日本人小学校卒業。巣鴨高校、慶応義塾大学卒業。
- 大学時代に政治の道を志す。暮らしの基盤をつくり出す「経済」について学ばなければならないと思い、証券会社や企業研究所等に就職・勤務。素材(鉄鋼、化学、紙・パルプ等)や半導体・電子部品など幅広い業界を、株式アナリスト(日本証券アナリスト協会検定会員)等として担当。
- 苦節3度の選挙を経て、2024年3月、繰り上げにより初当選。令和7年度の常任委員会は産業労働企業委員会、特別委員会は人材育成・文化・スポーツ振興特別委員会に所属。

## ご挨拶

平素よりお世話になり、誠にありがとうございます。埼玉県議会議員の「こもり克己」です。令和7年度も、「地域課題の解決」と「県経済の発展」を両輪に、県政を推し進めております。

「地域課題の解決」においては、八潮市道路陥没事故へ象徴される様、橋やトンネル、水道管をはじめ、インフラの老朽化が問題化しています。事故発生前に、内部の異常を捉え、「予防保全」を可能とする、「インフラモニタリング」の普及を推進し、事故撲滅を目指して参ります。

また川口市のクルド人問題など、一部の外国人により地域住民を不安に陥れる事態も発生しています。日本の法律やルールを遵守する「一般外国人」との「多文化共生」を図る一方、犯罪や違法行為を働く「不良外国人」に対しては、国外への「退去強制」を含めた入管法の厳格な執行が必要であり、法務省等へ是正を求めて参ります。

「県経済の発展」においては、地域の要望等を踏まえながら、農業のアグリテックや食品のフードテックなど、草加市の経済・産業における将来への種蒔きに取り組んでいます。次世代産業創出や優良企業の誘致に向けて、引き続き取り組んで参ります。

上記以外にも、市民や町会、各種団体の皆様からの様々なご要望に取り組んでおりますが、今後とも皆様方のお声をお聴かせ頂くと共に、引き続き御指導や御鞭撻の程、宜しくお願い申し上げます。



## 埼玉県政報告会・意見交換会

皆様のご参加を心よりお待ちしております。

日時

9月23日(火・秋分の日) 16:00~17:45

場所

ティールーム ジュン 草加市栄町3-6-9

アクセス

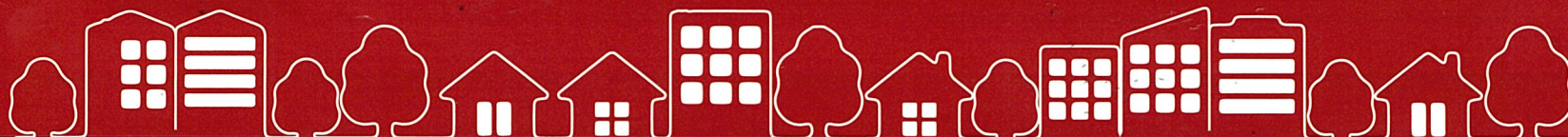
獨協大学前駅東口 徒歩2分

参加費

1,000円(2ドリンク付き)

内容

埼玉県政報告、質疑、意見交換など





## 「インフラモニタリング」の普及拡大で、老朽インフラの「事後保全」から「予防保全」へ

**道** 路橋やトンネル、水道管をはじめ、インフラの老朽化は、今後加速度的に進み、これまで以上に事故が多発する危険性が高まっています。従来の目視等による点検では、インフラの外部状態しか把握できず、また数年毎など間隔が開き、八潮市道路陥没事故では、法定通り検査を行っていたにもかかわらず、事故が発生しました。

けれども、弾性波などの波動を用いた「インフラモニタリング」では、内部の亀裂や劣化が把握でき、24時間365日の常時監視も可能で、従来の問題が生じてから対応する「事後保全」から、事故発生前に対処する「予防保全」を可能とします。新しい技術の為、導入コストが高いなど、まだ課題はあるものの、早期普及を推進して参ります。



## 犯罪・違法行為を働く「不良外国人」に、国外への「退去強制」を含む厳格な入管法執行を

**8** 月4日、埼玉県の大野知事は、多くのクルド人が日本へやってくるトルコ共和国に対し、相互査証(ビザ)免除協定の一時停止を、外務省に申し入れました。「この制度を利用した不法滞在や不適切な入国者への懸念が、国民の間で広がることは、日本国内での不安感を助長する」ことなどが理由としています。

私は、日本の法律やルールを遵守する「一般外国人」と、犯罪や違法行為を働く「不良外国人」とは区別する必要があると考えており、前者に対しては「多文化共生」を図る一方、後者に対しては、「出入国管理及び難民認定法(入管法)」に基づく、国外への「退去強制」を含めた厳格な措置が必要だと考えております。川口市でクルド人問題が生じている原因として、入管法の執行・運用の不作为や遅延も大きな原因の一つになっており、法務省等へ是正を要望して参ります。



## 草加市における次世代産業の創出へ。細胞農業研究機構(JACA)を相互訪問

**草** 加市では「柿木・青柳エリアデザイン会議」を開催するなど、今後、同エリアの開発を進めて行く予定です。北部の草加柿木産業団地の周辺地域は、「企業誘致推進地区」に設定され、農業のアグリテックや食品のフードテックなどを、次世代産業として育成して行きたいとの考えを有しています。なかでも「細胞農業」や「培養肉」は、アグリテックやフードテックでも、最も大きなイノベーションの一つで、将来はとても大きな産業になると予測されています。

この度、「細胞農業」について政府への提言等を行っている「一般社団法人 細胞農業研究機構(代表理事 吉富愛望アビガイル様、写真左)」を相互訪問し、勉強会を開催しました。草加市の次世代産業創出や優良企業の誘致に向け、引き続き取り組んで参ります。



**会** 派・埼玉民主フォーラム(立憲民主党で構成)は、埼玉県議会6月定例会の一般質問において、下記を初めとする30余りの要望を、埼玉県に対して行いました。皆様からのご意見やご要望を埼玉県政に反映させて参ります。

- 障害者の福祉サービス利用計画を作成する、
- 生活介護事業所を初め、特別支援学校卒業後の相談支援専門員等の早期不足解消を。
- 生活介護事業所を初め、特別支援学校卒業後の進路相談支援の充実を。
- 就職氷河期世代の再就職支援強化を。
- 埼玉県の防災力強化へ災害中間支援組織「彩の国会議」との連携を。



## お知らせ



JR武蔵野線の県内全ての駅で、  
2031年度末までにホームドア設置を完了する予定です。

JR武蔵野線のホームは、通勤・通学時間に人でごった返し、私もホームドア設置を再三要望して参りました。南越谷駅や東川口駅、南浦和駅を初め、埼玉県内全てのJR武蔵野線の駅で、2031年度末までにホームドア設置を完了する予定です。



埼玉県産業振興公社が、中小企業の皆様へ取引先の紹介や  
拡大を無償で支援します。

取引拡大の無償支援は、「埼玉県産業振興公社」のホームページより、販売  
開拓支援にて行っている「個別あっせん」からお申し込み下さい。右記もご活用  
下さい。ビジネスマッチングサイト「S-Search」もご利用下さい。

「S-Search」  
<https://www.s-search.jp/>

S-Search

検索



個別あっせん

柳島交差点周辺の暫定的な工事完了は、  
2029年3月末を予定しています。

県道川口草加線は交通量も多く、交差点を中心に慢性的な渋滞が発生しています。また、第一次緊急輸送道路であり、災害直後から、避難・救助をはじめ、物資供給等の応急活動の為に、緊急車両の通行を確保すべき重要な路線となっています。このため、県では柳島工区において、東西南北に4車線への拡幅工事を実施しています。

越谷県土整備事務所によると、NTTのケーブル移設工事に1年程度、出水期（およそ6月から10月頃）に工事ができない為、水路工事に2年程度を見込み、柳島交差点周辺の柳島工区の暫定的な工事完了は、2029年3月末を予定しています。その後、無電柱化工事等を行います。バリケードの撤去など最終的な工事完了の時期は、未定としています。



柳島交差点

発行元 埼玉民主フォーラム草加支部 埼玉県議会議員 かつみ こもり克己

連絡先 ☎ 048-911-3155 📍 埼玉県草加市中央二丁目4-1-301

🌐 <https://www.komori-katsumi.com> ✉ [mail@komori-katsumi.com](mailto:mail@komori-katsumi.com)

埼玉民主フォーラム / 立憲民主党

埼玉県議会報告書 令和7年度 No.3

埼玉県議会議員

かつみ

# こもり克己

## プロフィール

- 1975(昭和50)年2月22日生まれ。
- シンガポール日本人小学校卒業。崇徳高校、慶応義塾大学卒業。
- 大学時代に政治の道を志す。暮らしの基盤をつくり出す「経済」に付いて学ばなければならないと思い、証券会社や企業研究所等に就職・勤務。素材(鉄鋼、化学、紙・パルプ等)や半導体・電子部品など幅広い業界を、株式会社アナリスト(日本証券アナリスト協会検定会員)等として担当。
- 苦節3度の選挙を経て、2024年3月、繰り上げにより初当選。令和7年度の常任委員会は産業労働企業委員会、特別委員会は人材育成・文化・スポーツ振興特別委員会に所属。



## ご挨拶

平素よりお世話になり、誠にありがとうございます。埼玉県議会議員の「こもり克己」です。「地域課題の解決」と「県経済の発展」を両輪に、「日本一暮らしやすい埼玉県」の実現に向け、政治活動に日々励んでおります。本号では、埼玉県の令和8年度当初予算案や、草加市の皆様へのお知らせを掲載させていただきます。

イランに対する米・イスラエルの軍事攻撃が起きました。多くの人命が失われ、一日も早い戦闘の終結を祈願します。日本でも「外交・安全保障」への関心は、今までになく高まっています。昨年、防衛予算がGDP比2%まで前倒しで引き上げられました。今年は防衛増税が4月から始まるほか、長期の戦争に耐えられる「継戦能力」を高める為、安全保障戦略3文書(「国家安全保障戦略」、「国家防衛戦略」、「防衛力整備計画」)の改定が予定されています。

私は**大国に対して、軍拡競争で抗っても、質と量の両面で対抗するのは不可能**であり、カナダのカーニー首相の唱える、欧州やアジアの「ミドル・パワー(中堅国)の結束」など、**外交による解決を徹底的に追求すべき**と考えます。戦争や軍拡で国民を疲弊させるのではない、**平和を守り、生活者を第一に考える政治**へ地方議会から声を上げて参ります。

## 埼玉県政報告会

皆様のご参加を心よりお待ちしております。

日時

4月26日(日) 14:00~15:30

場所

アコス南館イトーヨーカドー草加店 6階  
会議室A・B

アクセス

草加駅東口 徒歩1分

参加費

無料

内容

埼玉県政報告、質疑、意見交換など



埼玉県草加市高砂2丁目7-1

# 埼玉県の令和8年度当初予算案における主な施策



埼玉県の令和8年度当初予算は2兆4,348億円(前年度比9.1%増)と、過去最大を更新しました。「人口減少・少子高齢化社会への対応」と「激甚化・頻発化する自然災害と新たな危機への対応」を二本柱として掲げると共に、5か年計画「日本一暮らしやすい埼玉」の最終年度として、総仕上げに取り組めます。会派・埼玉民主フォーラムや「こもり克己」からの要望も踏まえた、主な施策の抜粋は以下の通りです。

## 医療



### 救急医療や小児医療など 地域医療の強化へ

救急医療や小児・周産期医療、災害医療等で、特に重要な役割を担う病院に対して設備整備費を支援し、地域医療提供体制の充実を図ります。

## 教育

### ①部活動の充実や地域展開の支援

部活動における専門指導者不在や、教員負担の軽減などに対応する為、部活動指導員の拡充を図ります。部活動を学校単位から地域単位にする事を視野に、市町村を支援する部活動地域展開コーディネーターを配置します。



## 障害者支援

### 障害者雇用の促進

障害者雇用総合サポートセンターにおいて、企業における障害者の雇用と離職防止の取組を支援し、障害者雇用の拡大と職場定着を図ります。

## 子育て支援

### 「放課後児童クラブ」や「こども食堂」 など、子どもの居場所づくり支援

勤務等で昼間保護者のいない家庭の小学生に、遊びや生活の場を与える「放課後児童クラブ」運営支援や、利用児童が増加する中、その整備を促進します。「こども食堂」の新規立ち上げや、継続的な運営も包括的に支援します。



## 高齢者支援

### シニアの就業機会の拡大

「埼玉県シニア人材バンク」の構築など、高齢者の方々が自らの意欲や希望に応じて働くことができる環境づくりを推進します。

## 環境



### サーキュラーエコノミー (循環経済)の推進

廃棄物の再資源化や、サーキュラーエコノミー製品の利用を促すこと等により、資源の循環利用と県内産業の成長を促進し、持続可能な循環型社会を構築します。

## 下水道



### 下水道施設の保全と 災害対策の強化

下水道管路の全国特別重点調査の結果を踏まえ、改築工事等を実施します。修繕等が現在の技術では行えない下水道管路の複線化を推し進め、八潮市道路陥没事故と同様の事故を未然に防ぎます。

## 警察



### ①2年連続全国1位となる 175人の警察官を増員

埼玉県警は、175人の警察官の増員(定数11,699人→11,874人)を行い、匿名・流動型犯罪グループなどに対する戦略的な取締りを強化します。

## 動物愛護



### 犬猫の殺処分ゼロを 目指した取り組み

野良猫の繁殖抑制対策や、収容された犬猫譲渡の一層の推進等を図ります。埼玉県の殺傷処分数は、2002年10,937頭から2025年は33頭まで減り、2030年までにゼロを目指します。

## 防災



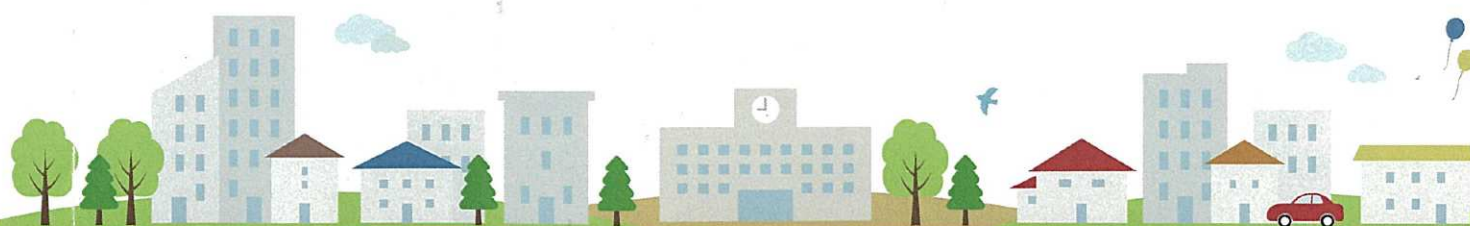
### 大規模地震対策の推進

震災時における被害の軽減と、救命救急や物資輸送等の要となる緊急輸送道路のネットワークを確保するため、民間建築物の耐震化を支援します。被災した建築物の余震等による二次被害を防止するため、被災建築物応急危険度判定活動の円滑な実施体制を強化します。

## 経済

### 「SAITAMAロボティクスセンター(仮称)」の整備

「SAITAMAロボティクスセンター(仮称)」の整備を推進します。市場拡大が見込まれるサービスロボット分野において、県内中小企業の参入や開発を支援します。



## 主な地元問題における取り組み



### 谷塚

瀬崎浅間神社とローソン間の、「谷塚交差点」の横断歩道ですが、青信号の時間が短く、高齢者が渡る時間が足りないとお声を頂き、青信号の時間を11秒から15秒へ延長しました。



### 草加駅西口

視覚障害者の団体からご要望を頂き、草加駅西口側（ロータリーを除く）の2つの交差点に、点字ブロックを新たに8箇所設置しました。



### 稲荷・青柳

昨年、葛西用水で、「ホテイアオイ」が異常繁殖し、用水路が一面に覆われ、立ち入る人も出て、「危険だ」とのお声を頂戴しました。小さな子株のうちの、徹底した早期駆除の実施を、市当局へ進言しました。



### 新田

長栄町会の皆様と協力し、清門幼稚園前の横断歩道を渡る歩行者の安全強化に取り組み、注意喚起を促す赤線や赤枠などを、新たに道路へ表示しました。



埼玉民主フォーラム / 立憲民主党

埼玉県議会報告書 令和8年度 No.1

埼玉県議会議員

かつみ

# こもり克己



## プロフィール

- 1975(昭和50)年2月22日生まれ。
- シンガポール日本人小学校卒業。巣鴨高校、慶応義塾大学卒業。
- 大学時代に政治の道を志す。暮らしの基盤をつくり出す「経済」について学ばなければならないと思い、証券会社や企業研究所等に就職・勤務。素材(鉄鋼、化学、紙・パルプ等)や半導体・電子部品など幅広い業界を、株式アナリスト(日本証券アナリスト協会検定会員)等として担当。
- 苦節3度の選挙を経て、2024年3月、繰り上げにより初当選。令和8年度の常任委員会は警察危機管理防災委員会、特別委員会は少子・高齢福祉社会対策特別委員会に所属。

## ご挨拶

平素よりお世話になり、誠にありがとうございます。埼玉県議会議員の「こもり克己」です。新年度も「地域課題の解決」と「県経済の発展」を両輪に、大野知事の掲げる「日本一暮らしやすい埼玉県」を、会派・埼玉民主フォーラムで支えながら、全力で議会活動に取り組んで参ります。

さて、米・イスラエルとイランとの戦闘ですが、依然として終結への出口が不透明です。戦闘の長期化は、エネルギーのみならず、半導体や肥料など広範囲に影響を及ぼし、甚大な被害が我々の生活や国内外の経済へもたらされるまでに残された時間は多くありません。一刻も早い戦闘の終結を望むと共に、埼玉県に対して、可能な限りの取り組みを要請して参ります。

令和8年度は、「警察危機管理防災委員会」への配属となりました。埼玉県警に対して、**AIを初めとする先端技術の導入や活用の強化等**を要望し、犯罪の摘発や抑止の向上に結び付けて参ります。また巨大地震や水害、感染症など、様々な危機に対する対策や備えを、盤石にすべく取り組んで参ります。

何かお困り事やご要望等がございましたら、お気軽にご連絡を頂き、皆様方のお声を行政へ反映させて参ります。新年度も引き続き、御指導や御鞭撻を賜りましたら幸いです。何卒宜しくお願い申し上げます。

## 埼玉県政報告会

皆様のご参加を心よりお待ちしております。

日時

4月26日(日) 14:00~15:30

場所

アコス南館イトーヨーカドー草加店 6階  
会議室A・B

アクセス

草加駅東口 徒歩1分

参加費

無料

内容

埼玉県政報告、質疑、意見交換など



埼玉県草加市高砂2丁目7-1

# 令和8年2月定例会における一般質問

令和8年2月定例会(2月19日～3月27日)において、以下の質問項目について、一般質問を行いました。質疑の一部を取り上げ、その要旨をご紹介します。埼玉県議会のホームページから、全文や動画もご覧頂けたら幸いです。どうぞよろしくお願い申し上げます。

## 質問項目

- 1 **経済** 埼玉県の「産業戦略」について
- 2 **ロボット** 「SAITAMAロボティクスセンター(仮称)」を中核とする、ロボット産業クラスター
- 3 **インフラ** 「インフラモニタリング」の活用で、「事後保全」から「予防保全」へ
- 4 **観光** 「空飛ぶクルマ」の就航へ向けて
- 5 **医療** 県内の医療格差是正について  
(1)二次医療圏における病院の適切な役割分担と連携  
(2)不採算医療を担う公立病院の支援
- 6 **教育** 遠隔教育や教育DXを活用した、多様性ある教育の推進を  
(1)「メタバース空間を活用した不登校児童生徒等支援事業」の更なる発展  
(2)今後の県立高校における遠隔教育の展望
- 7 **保育** 保育に関する施策の充実について  
(1)「保留児童数」にも重点を置いた待機児童対策を  
(2)将来的な保育士の確保対策
- 8 **外国人問題** 国に対する、トルコ共和国との「相互査証(ビザ)免除協定」一時停止の要望
- 9 **地元問題** 広域連携を通じた、草加市観光振興への支援



## 観光 「空飛ぶクルマ」の就航へ向けて

質問 こもり克己

答弁 大野知事

**Q** 昨年、訪日観光客数は、史上初めて4千万人の大台を突破しました。一方で、県内のホテルや旅館の業界団体からは、埼玉県への来訪数が十分でなく、経営が依然として厳しいとの声が届いています。

さて、「空飛ぶクルマ」は、大阪・関西万博で話題となり、来年からは、東京都で、商用運航開始が予定されています。

もし埼玉県で、「空飛ぶクルマ」が就航されれば、羽田空港や成田空港から大宮まで20分程度でつないだり、川越や秩父、大宮などの、県内の観光地を一日で周遊する事も可能になると予想されます。

また埼玉県には、ホンダのEVのマザー工場がありますが、現在、ホンダも「空飛ぶクルマ」の開発を行っており、将来、生産拠点の誘致に成功すれば、県内の自動車関連企業に大きな事業機会がもたらされ、航空関連企業の集積なども期待されます。

「空飛ぶクルマ」は、将来、自動車産業の半分弱の市場規模になるとも予測され、渋滞の影響を受けない日常の交通手段や、救急医療、災害救助など様々な用途での使用が見込まれています。まず初めに、観光目的から、「空飛ぶクルマ」の就航を一早く検討し、「翔(飛)んで埼玉」を目指すべきと考えますが、いかがでしょうか？

**A** 直ちに「翔んで埼玉」とはいきませんが、空飛ぶクルマは、観光誘客に寄与するコンテンツとなるだけでなく、移動手段を劇的に変える可能性を秘めていることから、国や東京都の動向などを注視してまいります。



## 教育

## 遠隔教育や教育DXを活用した、多様性ある教育の推進を

質問 こもり克己

答弁 日吉教育長

**Q**

県立高校の学びにおいて、遠隔教育のメリットを最大限生かし、生徒一人ひとりの興味・関心や、進路希望に応じた個別最適な学びを推進する事は、非常に重要と考えます。

現在、県では「オンライン連携講座事業」に取り組んでいますが、大学受験の学びに限定された側面があり、生徒の興味・関心や進路希望等を、より広く、深く掘り下げられる様、ソフト面での多様性を広げて行くべきと考えますが、ご所見をお聞かせ下さい。

**A**

今後は、生徒一人一人の興味・関心を引き出し、進路実現を図る学びの提供と言う観点から、生徒の実態やニーズを踏まえ、幅広い講座の実施について検討して参ります。



## 保育

## 「保留児童数」へ重点を置いた待機児童対策を

質問 こもり克己

答弁 岸田福祉部長

**Q**

埼玉県の保育所等「待機児童数」は、2018年の1552人から、2025年には208人まで減り、一見、問題は大きく鎮静化した印象を受けます。けれども、保育園関係者や父兄から、依然として入園にとっても苦勞をする話を数多く耳にし、数字と肌感覚との間に大きなズレを感じます。

「待機児童数」は、4つの類型が算出から除外されます。例えば、毎日の送迎が負担となるので、上の子と同じ保育所に、下の子も限定して預ける事を希望する場合や、復職を予定していたものの、保育所に子どもを入所させる事ができず、やむを得ず育児休業を延長する場合などです。

「待機児童数」208人に対し、「除外四類型」は6,473人に上り、合計した「保留児童数」は6,681人に達します。「保留児童数」の削減に、より一層重点を置いた施策の運営を図る必要があると考えますが、ご所見をお伺いします。

**A**

保留児童への対応について、国は、市町村において保育ニーズの把握や保育所等の入所の際に行う利用調整を丁寧に進めて行く事が重要であるとしています。

県と致しましては、保留児童のこどもや保護者の状況、保育の提供体制など地域ごとに異なる実情を踏まえた、極め細やかな利用調整を行うよう、市町村に周知して参ります。

## 地元問題

## 広域連携を通じた、草加市観光振興への支援を

質問 こもり克己

答弁 野尻産業労働部長

**Q**

草加市は、江戸時代、千住宿に続く、日光街道の第2の宿場町として栄えました。当時は、参勤交代の大名行列や、一般旅行客の往来などで、大いに賑わっていたそうです。毎年開催される「草加宿場まつり」は、歴史衣装をまとった大名行列などで、江戸時代の様子を現代に蘇らせると共に、松並木が立ち並ぶ「草加松原」は、松尾芭蕉が草加を訪れた当時を色濃く伝える景観として、国の名勝にも指定されています。

こうした歴史や伝統にも関わらず、草加市の観光入込客数は、コロナ禍前の100万人近くが、近年は40万人程度に止まります。一方で、草加市だけでは観光資源として限界があり、越谷市や春日部市、川口市など、周辺地域との広域連携を推進して欲しいとの要望を、市当局より受けています。例えば、草加市の「草加松原」、越谷市の「レイクタウン」、春日部市の「首都圏外郭放水路」、川口市の「SKIPシティ」等々、各地域の有力なコンテンツを結び付け、訪日観光客の周遊を促す案などです。

ぜひ広域連携を推し進め、草加市なども恩恵が享受できる施策の実施を要望しますが、御所見をお伺いします。

**A**

今後も、より多くの方が草加市を含め、県内の魅力溢れるコンテンツを周遊いただけるよう、広域的なプロモーションに取り組んでまいります。